

クイックスタートガイド

---

# 688

Field Production Mixer with  
Integrated Recorder and MixAssist™



**SOUND**  **DEVICES**



## ようこそ

---

数	アイテム
1	688 Portable Mixer and Recorder
1	Cable (USB Standard A to USB Standard B)
1	Connector (USB 2.0 A Female to Female)
2	Link Port Cover
1	LCD Protective Cover
4	Adhesive Rubber "Bumpers"
>1	Colored Dot stickers
>1	Sound Devices Promo Stickers
>1	Video Devices Promo Stickers
1	Registration/Warranty card
1	Quick Start Guide

備考：Link Port Cover は製品(688) に取付けられています。

## Read and Register...

---

Full User Guide:



[http://www.sounddevices.com/download/guides/688ug\\_en.pdf](http://www.sounddevices.com/download/guides/688ug_en.pdf)

Register Your 688:



[www.sounddevices.com/support/registration/](http://www.sounddevices.com/support/registration/)

Email Support:



[support@sounddevices.com](mailto:support@sounddevices.com)

Call Support:



1-608-524-0625  
1-800-505-0625

## 688 特徴



- ・ 12 入力、16トラックの ミキサー／レコーダーで、入力と出力にディレイ機能を持つフルデジタルミキサーです。
- ・ オプションの SL-6 ワイヤレスシステムを装着すると、688 とスロットイン・レシーバーとの接続がシンプルになります。接続ケーブルが減ることでサウンド・ミキサー・バッグの中が煩雑になりません。SuperSlot 互換の別売レシーバーを使用すると、688 からレシーバーをコントロールすることができます。SL-6 は周辺機材の電源分配用に USB チャージングポート、12V アイソレート出力を 2 個、バッテリーダイレクト出力を 2 個備えます。
- ・ MixAssist は、アクティブではないマイクロフォンのレベルを自動的に減衰して、ポストフェーダー出力をミックスする自動ミキサー機能です。業界で最も精錬されたアルゴリズムを用いて、アクティブなマイクロフォンの数に関わらず一貫したバックグラウンドサウンドを保持し、1つのオーディオソースを複数のマイクが收音したときのコムフィルター効果や位相障害を抑えます。レコーダーの出力が PA 出力に使用されている場合は、ハウリングしないようにゲインを増幅します。
- ・ PowerSafe 回路は、複数の電源ソースを監視し、電圧低下をフロントパネルに警告します。不慮の電源ロスでも内蔵のパワーリザーブにより 10 秒間動作して、録音中のファイルを壊すことなく停止させて自動的にシャットダウンします。
- ・ QuickBoot 機能は、2 秒以内に起動と録音開始することができます。QuickBoot は 688 の電源スイッチをオフにしてから 2 時間有効で、フロントパネルの Timecode LED が 2 秒間隔で点滅します。
- ・ オプションの CL-6 インプット・コントローラーは、チャンネル 7-12 用のフルサイズ・フェーダーを 6 個、日光下でもみやすい LED レベルメーター、自照式 REC / STOP ボタンを備えます。
- ・ 業界標準のすべてのサンプルレートに対応しており、最高 192kHz のレートで 6 トラックまで録音することができます。
- ・ Ambient タイムコード・ジェネレーター／リーダーにより、業界標準のタイムコード・レートに対応しています。

# 1. 電源の接続

688 は EXT DC コネクタによる給電、もしくは内蔵単三型電池によって動作します。複数の電源ソースがある場合、688 は1つのソースだけを使用し、単三電池は最後に使用します。688 は、不慮の電源ロスでも内蔵のパワーリザーブにより10 秒間動作して、録音中のファイルを壊すことなく停止させて自動的にシャットダウンします。

**外部電源(EXT DC) を 688 に接続するには:**

- DC パワーソースを 688 の右側の 10-18VDC 入力に接続します。

---

備考: ヒロセコネクタの pin-4 がプラスで、pin-1 がマイナスです。

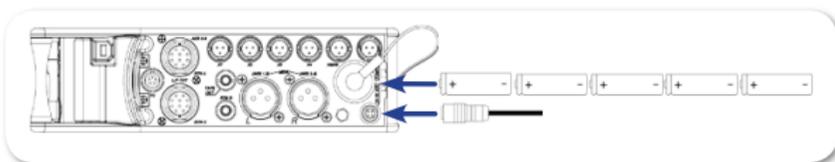
---

688 は、外部電源が取り外されるか消耗して電圧降下すると、5 本の単三型電池をバックアップバッテリーとして使用します。単三型アルカリ電池を使用できますが、NiMH ニッケル水素充電電池をお勧めします。

バッテリーによって動作時間は異なります。アルカリバッテリーのランタイムは、基本セッティングで 10 分から 15 分です。NiMH とリチウムバッテリーのランタイムは最高 90 分です。

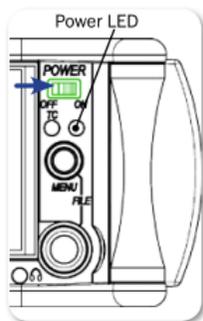
**単三型電池の挿入方法:**

1. バッテリーキャップを(反時計方向に)回して外します。
2. 5 個の単三型 NiMH バッテリーをバッテリーチューブに挿入します。バッテリーの向きはプラス極が奥に、マイナス極が外向きになるように挿入します。



## 2. 電源を入れる

---



688 の電源を入れるには：

POWER スイッチを右にスライドさせます。

パワーLED が黄色に点灯してから緑色に変わります。標準起動時は液晶画面に Sound Devices ロゴが短時間表示した後、通常画面に変わります。

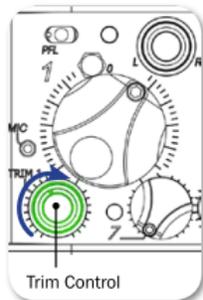
---

ファームウェア・バージョンは標準起動時に表示されますが、Menu > System > Version Info から確認できます。最新のバージョンについては、Sound Devices のウェブサイトダウンロードできます。

---

## 3. 入力を有効にする

---



入力をアクティブにするには：

1. もしトリムコントロール・ノブが格納されていたら、押してポップアップさせてください。
2. トリムノブを時計回転方向に回すと入力回路が有効になります。

---

備考：トリムコントロールを反時計方向に完全に回し切ると、入力回路がオフになります。（節電とミュートになります。）

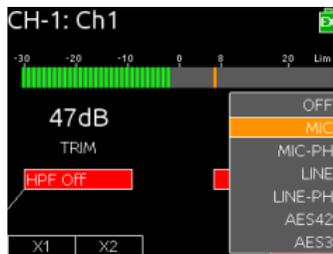
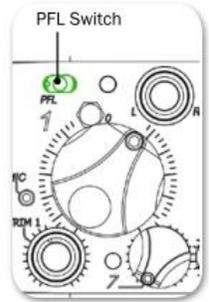
---

## 4. 入力のタイプを選ぶ

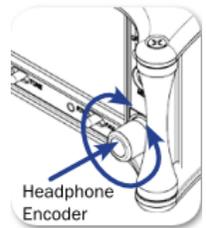
入力のタイプを選択するには:

1. PFL(pre-fade-listen)スイッチを左に倒すと、該当するチャンネルの入力設定画面にアクセスできます。

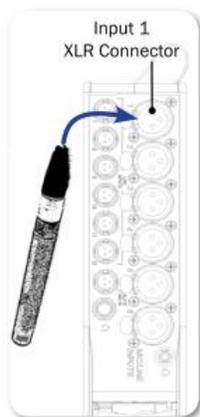
備考: 手順 1 はファクトリーデフォルトを基本としています。もし PFL スイッチを左に倒しても入力設定画面が表示されない場合、PFL トグルスイッチモードが 12ch のデフォルトに設定されていません。PFL トグルスイッチモードが 6ch に設定されている時は、PFL スイッチを左に倒しても PFL がアクティブになるだけなので、右に倒してください。



2. Headphone エンコーダを押すと、入力タイプのリストが表示されます。
3. エンコーダを回して任意の入力タイプをハイライト状態にして、エンコーダを押すと選択が反映されます。
  - ・ OFF - トリムを回さずに入力を無効(ミュート)にします。
  - ・ MIC - ダイナミックマイクロフォンかマイクロレベルのソース用
  - ・ MIC PH - ファンタム電源を必要とするマイクロフォン用
  - ・ LINE - アナログ・ラインレベルのソース用
  - ・ LINE PH - ファンタム電源を必要とするマイクロフォン用。サウンドプレッシャーレベルの高い環境用のラインレベル入力です。
  - ・ AES42 - デジタルマイクロフォンの AES42(Mode 1) 用
  - ・ AES3 - デジタルオーディオ AES3 ソース用
4. PFL スイッチを左にもう一度倒すと、メイン画面に戻ります。



## 5. 音声ソースを接続



左側面にある、6 個の XLR-3F コネクタは、バランス・マイクロフォン入力かラインレベル入力です。TA3-F コネクタはラインレベル入力用です。

**オーディオソースを接続するには：**

標準 XLR ケーブルを使用して、XLR 入力コネクタにマイクロフォンかラインレベルアナログ機器を接続します。

---

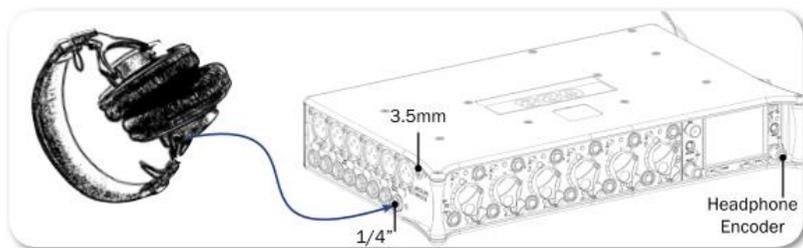
備考：入力 1 か 6 は、AES3 か AES42(Mode1) 信号も入力できます。  
(pin-1 が GND、pin-2 がポジティブ、pin-3 がネガティブ。)

---

## 6. ヘッドフォンを接続

**ヘッドフォンを接続するには：**

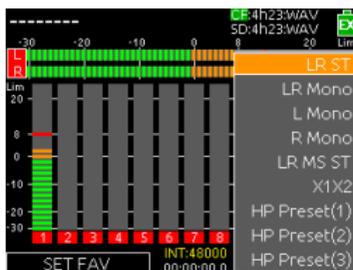
1. ヘッドフォンプラグを接続する前に、画面の HP レベルが off 表示になるまで Headphone エンコーダを半時計方向に回します。
2. 688 の左側面にあるヘッドフォンプラグに適合するジャック(6.3mm か 3.5mm)に接続します。
3. HP エンコーダを時計方向にゆっくり回して、適切な音量に調整します。



## 7. ヘッドフォンソースの選択

ヘッドフォンソースを選択するには:

1. HP エンコーダを押すと、有効なヘッドフォン・ソースがリスト表示されます。何も操作せずに数秒経過すると自動的にリスト画面は閉じられます。
2. マスターL&R をモニターするには、HP エンコーダを回して LR ST をハイライトさせます。
3. エンコーダを押すと、選択が反映されます。



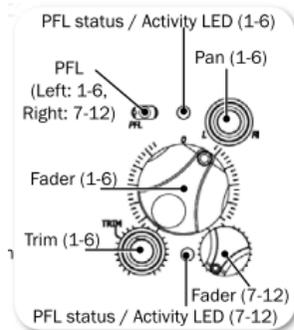
## 8. トリムとフェーダー

入力のゲインは、トリムとフェーダーの2つのコントロールで調整されます。

2段階でレベル調整する方法は、大型コンソールのトポロジーと同じもので、音量をとて調整しやすくします。トリムはおおまかにゲインを調整し、フェーダーは精細にレベルを調整することができます。

トリムとフェーダーを調整するには:

1. フェーダーを 0dB(12 時位置)に設定します。
2. レベルメーターを見ながら、トリムを回して適切な位置に合わせます。



## 9. 録音メディアの挿入

---



コンパクトフラッシュ(CF)かSDメモリーカードの挿入口は、右側面のメディア・ドアの裏側にあります。(メディア・ドアはマグネットで保持されています。)

### 録音メディアを挿入するには:

1. メディア・ドアをしっかり持って、開けます。
2. メディアカードを正しいスロットに挿入します。

SDカードは、カードの底面(金属接点が見える側)が688の背面を向くように挿入します。CFカードは、カードの天面(ブランドラベルが見える側)が688の背面を向くように挿入します。

---

備考: Sound Devices の品質管理エンジニアによる厳密なテストを行った認証メディアは、688 で信頼をもって動作し、ベストパフォーマンスを提供します。録音メディアを御購入の際は、Sound Devices のウェブサイトでの Approved Media リストを参照ください。

[www.SoundDevices.com/Approved](http://www.SoundDevices.com/Approved)

---

録音する前に、必ず SD か CF カードを 688 でフォーマットしてください。

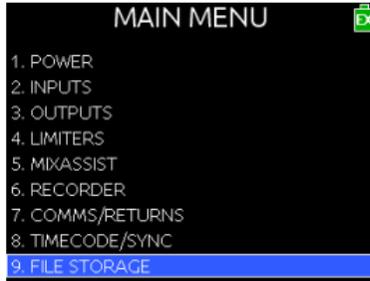
---

**警告:** カードをフォーマットすると、カード内の全てのデータが消失します。

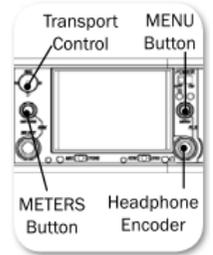
---

### SD か CF カードをフォーマットするには:

1. MENU ボタンを押します。
2. HP エンコーダを操作して、該当のメディアを選択します。



3. 次のどちらかを操作します。
  - ・ Erase/Format CF を選択して CF カードをフォーマットします。
  - ・ Erase/Format SD を選択して SD カードをフォーマットします。
4. HP エンコーダを押して、フォーマットを実施します。
5. 画面に表示されるメッセージに従って、HP エンコーダを操作してフォーマット作業を進めます。
6. METER ボタンを押すと、メイン画面に戻ります。



## 10. 録音

---

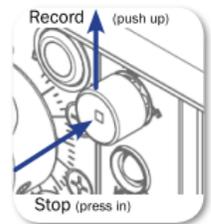
### 録音を開始するには:

トランスポートコントロールを上に戻すと録音が始まります。

### 録音を停止するには:

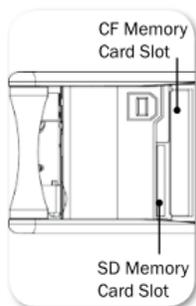
トランスポートコントロールを押すと録音を停止します。

録音中は、テイクネームと背景色(画面の上部)、タイムコードカウンター(画面の下部)が赤色になり、アブソリュートタイムの時間が進みます。また、メディアにアクセス時、CF と SD のインジケーターが黄色に光りません。



## 11. 録音ファイル

---



録音を終了したら、メディアを抜く前に、画面の右上にあるメディアの残時間が黄色で光っていない(アクセスしていない)ことを確認してください。688 から抜いたメディアは、市販のカードリーダーでパソコンに接続してコンピュータにデータ転送することができます。

**CF カードを抜くには：**

- メディアドアを開いて、CF カードを引き抜きます。

**SD カードを抜くには：**

1. メディアドアを開きます。
2. SD カードを押すと、スプリングでカードが部分的に露出します。

## 12. 電源の強制オフ

---

なんらかのトラブルで688を強制的に再起動させたい場合、パワーセーフとクイックブート機能を一時的に解除するには、次の操作を行います。

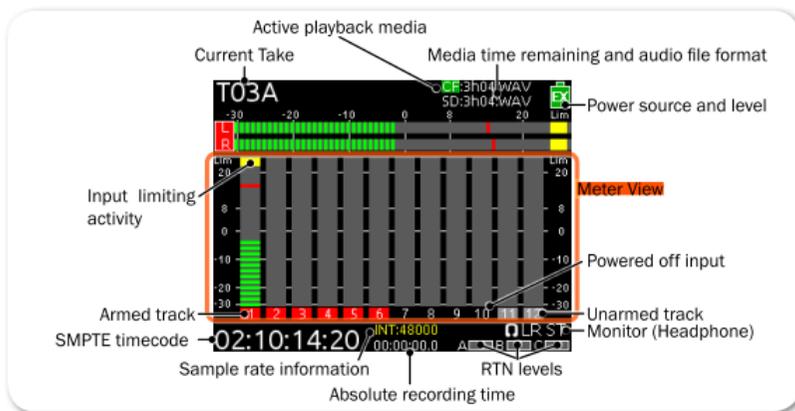
688 を強制電源オフするには：

1. POWER スイッチを左にスライドしてオフにします。
2. MENU ボタンを 5 秒間押し続けます。

688 が強制オフされると、Timecode LED が点滅しなくなります。

## メイン画面

メイン画面には、さまざまな情報が表示されます。MENU ボタンを押すと、どの画面からもメイン画面に戻ることができます。画面下に表示されている timecode フレームレート情報かサンプルレート情報を、METERS ボタンを押しながら、RTN/FAV スイッチを左にスライドしてトグル切替することができます。次のサンプル画像は、デフォルト設定です。



メータースタイルをソリッドに変更したり、トラックネームをメーター上に表示させることができます。

METER ボタンを押すと、メイン画面は、3つのメータービューを繰り返し順番に切り替えることができます。3つのメータービューは、Mainメニュー System > Meter Views でユーザーの好みの組み合わせチャンネル表示に設定することができます。

688 の詳しい操作方法については、688 ユーザーガイドを参照ください。

[http://www.sounddevices.com/download/guides/688ug\\_en.pdf](http://www.sounddevices.com/download/guides/688ug_en.pdf)



**SOUND**  **DEVICES**